



子育て通信 4月号

暖かい日が多くなり、花々が見ごろを迎える季節となりました。出かける際には、暖かい季節の醍醐味に触れてみてください。子ども達にとってワクワク、ドキドキする発見がたくさんあるでしょう。

油断大敵！ 麻しん(はしか)

海外で、麻しん(はしか)の流行が報告されており、感染した人が日本で発症して感染が広がる事があります。免疫の無い人の感染率はほぼ100%と言われていています。渡航される場合には予防接種歴を確認し、受けた事がない場合はあらかじめ受ける事を検討してください。

症状 感染すると10日後に発熱や咳、目の充血といった風邪のような症状が現れ、2~3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発しんが出現します。麻しん(はしか)の怖いところは、肺炎、中耳炎を合併しやすく、1000人に1人程度の割合で脳炎が発症します。

家庭で気をつける事 全身症状が強い為、罹るととてもつらい病気です。脱水に気をつけて、こまめに水分補給をしましょう。食事は好きな物、食べられる物を少しずつ与えてください。治るまでは経過に十分注意し、しっかり体を休めましょう。

予防接種 子どもの場合、麻しん(はしか)ワクチンは定期予防接種として位置づけられています。接種対象の年齢になると、市から予防接種の案内が送られてきます。早めに接種しましょう。また、小学校入学前に受ける2回目の接種も忘れずに行いましょう。

【対象年齢】 第1期:1歳の1年間 第2期:小学校入学前の1年間



子どもへの声かけ

子どもの心や社会性を育む為には、赤ちゃんの時から大人の言葉かけが大きな役割を果たします。子どもの自己肯定感、自発性を育てる言葉かけを大切にしましょう。

0歳~

行動の前には声をかける

「〇〇ちゃん、おむつ替えようね」「〇〇ちゃんお散歩に出かけよう」等と、名前を呼んで次にする行動を伝えてあげてください。

1~2歳

気持ちを共感する

「うれしいね」「悲しいね」等、子どもの思いを言葉にして伝える事で、子どもは大人への信頼感を高め、言葉を覚えていきます。



Point
自己肯定感は短期間で大きく変化するものではなく、日々のコミュニケーションや経験の中で育ちます。

2~3歳

プラスの言葉で

「〇〇してはダメ」ではなく、「〇〇だからこうしよう」と、声をかけましょう。「ダメ」と言われ続けると、主体的な行動ができなくなってしまいます。

子どもに考えさせる

「こういう時はどうするんだっけ?」「どうすれば良いと思う?」等、子どもに考えさせるような言葉も効果的です。



子育て支援センターってどんなところ？

八幡市には、3つの子育て支援センター（**あいあいポケット**・**そよかぜ**・**すくすくの杜**）があります。どの施設も地域子育て支援拠点として位置づけられ、子育て家庭のサポートを行っています。

3つの子育て支援センターでは以下のように様々な取り組みを行っています

常設ルームを開放しています

開所中はいろんな玩具で自由に遊べ、気軽に交流できる場所を提供しています。

専門職が子育て相談に対応します

各支援センターには、専門職が配置されています。子どもとの関わり方、成長や発達のこと、子どもの病気や手当の仕方、子どもの食事のことなど、保護者の不安や悩みに寄り添いながら、一緒に考えていきます。



- * **あいあいポケット**と**そよかぜ**には保育士、利用者支援員がいます。
- * **すくすくの杜**には保育士・保健師・栄養士・言語聴覚士、利用者支援員等がいます。

子育てに役立つ情報を発信・提供します！

八幡市にある子育て支援サービスや、子どもの育ち・子育てに役立つ情報を集め、提供しています。子育て支援センターでは家庭ごとのニーズを十分にお聞きし、その家庭にあった子育て支援サービスを保護者自身で選択できるようサポートする**利用者支援事業**を行っています。

《 利用者支援事業を担う利用者支援専門員 》

個々の家庭のニーズに応じて、適切な専門機関などを紹介（コーディネート）します。妊娠・出産期から子育て期に渡り、切れ目のない支援を行っています。



子育て講座を開催しています！

「親子のスキンシップはどんなふうにしたらいいの？」「子どもの靴はどう選べばいいの？」など、子育てのヒントを得られる講座を開催しています。みんなで楽しく学びましょう！



あいあいポケット



そよかぜ



すくすくの杜



子育て支援センターの詳細はこちらのQRコードから